



第3回通学路安全対策ワークショップ

令和7年10月4日（土）の午後1時30分より、芥見南公民館において第3回通学路安全対策ワークショップを開催しました。参加者は、第2回に引き続きPTA、見守り班、青少年育成協議会、自治会、交通安全協会などの方々です。

通学路安全対策の優先順位及び合意形成

通学路の人数や客観的データなどの指標により、参加者の皆さまの意見を加えて、優先順位を決めていただきました。さらに優先順位を会場全体で共有し、参加者の皆さまの合意を形成しました。

▼テーブルでの話し合い



お礼と今後について

通学路安全対策ワークショップにご参加いただきありがとうございました。見守り活動や取締り強化など地域や関係機関の協力を得ながらソフト・ハード両面で令和8年度より順次対策を進めています。



▲発表の様子

通学路安全対策 ワークショップ

第3回
ワーク
ショップを
開催(10/4)

Vol. 2



芥見東
校区

ワークショップで合意した通学路安全対策（芥見東校区）



優先順位 1

通学路の安全対策イメージ

芥見東校区【A6】

・坂道でスピードを出す車が多く、カーブをしているため危険

※現場の状況により変更となる場合があります

芥見東校区【B6】
・階段を降りてすぐの横断歩道が、植栽で見えしが悪い
・子どもが階段を勢いよく降りてきたとき、道路に飛び出してしまう恐れあり



芥見東校区【C10】
・信号があっても、スピードを出す車が多く危険
・ラバーボールが倒れている



優先順位	箇所	危険要因	安全対策
1	A6	坂道でスピードを出す車が多く、カーブをしているため危険	カラー舗装
	B6	階段を降りてすぐの横断歩道が、植栽で見えしが悪い 子どもが階段を勢いよく降りてきたとき、道路に飛び出してしまう恐れあり	カラー舗装・注意喚起看板・見守り活動
	C10	信号があっても、スピードを出す車が多く危険 ラバーボールが倒れている	ラバーボール修繕・カラー舗装
	D5	西側に歩道があるが、子どもは東側の路側帯の方を歩く スピードを出す車がおり、信号の待場も狭く危険	ガードパイプ設置・路肩カラー舗装
2	A3	北進車が左折する際、歩道橋下の横断歩道を渡る子どもが見えづらい 勢い良く曲がってくる車がいて危険	路面標示・カラー舗装・交差点カラー舗装
	B7	小学校の廃止された校門前の歩道のガードパイプがなく危険	ガードパイプ設置
	C15	坂から降りてきてバス通りに出る際、停止線があるため車は気を付けることができるが、低学年の子どもが飛び出さないか心配	注意喚起看板・カラー舗装
	D7	交差点の見通しが悪く、子どもが道路を横断する際危険	交差点カラー舗装・カーブミラーの追加と調整
3	A1	急カーブで横断歩道が確認しづらい	カラー舗装・注意喚起看板
	B5	道路がカーブしており見通しが悪く、スピードを出す車がいる 路上駐車をしている車がおり、避けた子どもが車道に出て危険	注意喚起看板・路肩カラー舗装
	C13	道幅が狭いのに、スピードを出す車が多い 東から来る自転車が急に左折して危険	注意喚起看板・水路覆蓋
	D6	坂道になっており、スピードを落とさない車がいて危険 家があり、交差点の見通しが悪い	交差点カラー舗装・カラー舗装・注意喚起看板

対策工事のスケジュール

△合意形成された対策工事は、関係機関との調整が必要なものなどもありますので、前後することもありますが、来年度より優先順位の高いものから順番に3年程度かけて実施します。

今後のフォローアップ

△工事の進捗状況などの情報をかわら版として取りまとめ、年度ごとに地域回覧し、校区全体で共有します。

危険箇所を小学生へ共有

△市内全小学校で導入されているタブレット用の教育ICTツール、ロイロノートによりワークショップの活動内容と、話し合われた危険箇所について、資料を作成し、学校に提供し、安全教育に役立てていただきます。



▲ 安全教育の様子
(イメージ)